

第3回明石公園みんなの未来ミーティングの振り返り



◆当日の次第

○日 程:令和6年10月6日(日)14:00~16:15

○場 所:県立明石公園花と緑のまちづくりセンター

○議 題

1. 前回のみんなの未来ミーティングの振り返り(高田C・20分)
※「市民プロジェクトの進め方」を含む
2. 前回の管理運営協議会の振り返り(県・10分)
3. 市立図書館跡地の活用計画について(市・30分)
4. 明石部会で決定した石垣周辺の樹木管理について(県・25分)
5. 明石公園リノベーション計画及び拠点創出について(県・高田C・15分)
6. 石垣周辺の調査について(県・5分)
7. 樹木管理に係る報告について(協会・10分)
8. その他(次回の予定等・5分)

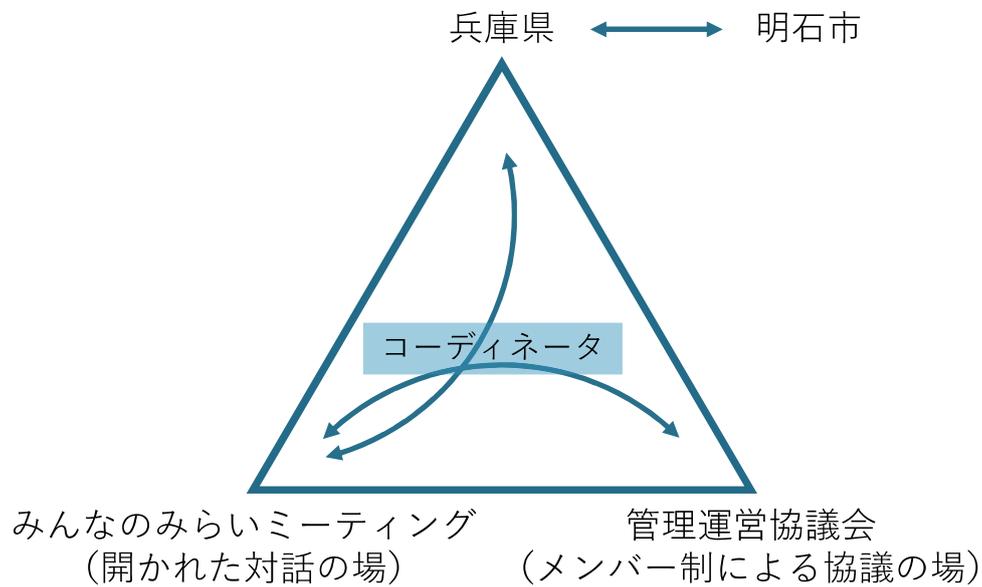


241006 第3回明石公園みんなの未来ミーティング

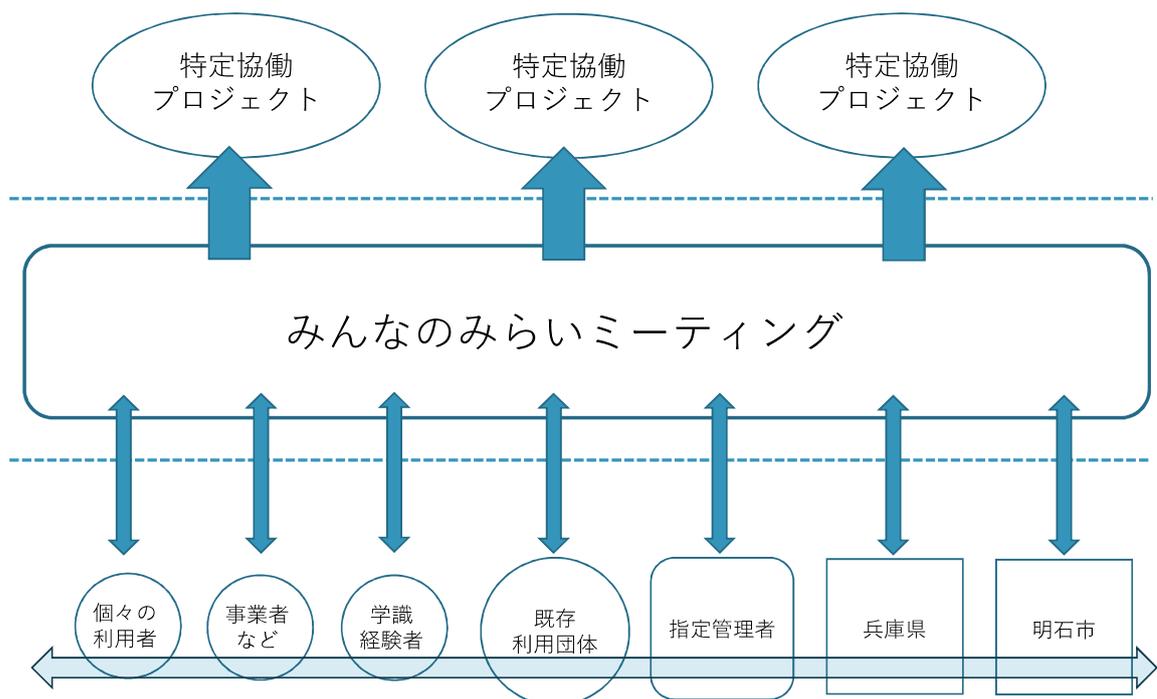
明石公園みんなの未来ミーティング

2024年10月6日(日) 14:00-16:00
@明石公園花と緑のまちづくりセンター

明石公園における協働のしくみ



明石公園における協働のしくみ



みんなのみらいミーティングの役割

- 明石公園にかかわるすべての人が自由に参加でき、明石公園のことについて自由に「談義」する
- 明石公園の現状や、個々の実践を共有し、いろんな情報や人を「マッチング」する
- 一緒にできること、明石公園のために取り組まなければならないことを「企画」する

みんなのみらいミーティングの運営

<各回で話し合う内容>

- 建設的な話し合いができるようテーマを設定する
- 短期的な視点だけでなく、公園の将来像など長期的な内容についても話し合う
- 話し合った内容は、管理運営協議会及び兵庫県に報告する

<特定協働プロジェクト>

各主体が横断的に取り組む必要のあるテーマが発生した場合には、別途プロジェクトを立上げて検討を行う

<運営チーム>

兵庫県、明石市、指定管理者、有識者、コーディネーター

市民プロジェクトの進め方

A：個々で実践するソフトの取り組み

特に調整や協議が必要なものではなく、利用者が自由に実施できる

B：明石公園の施設・資源などを使用して実践する個々の取り組み

協会あるいは県と事前の調整・協議のもと、実施主体が責任をもって取り組む

C：明石公園全体に関わる取り組み（特定協働プロジェクト）

みらいミーティングおよび協議会でテーマを設定の上、プロジェクト体制を構築して実施する

話し合いのグラウンドルール

- 明石公園を愛し、行動する者として、お互いを尊重しながら、建設的に話し合う
- 特定の組織や個人をつるしあげたり、誹謗・中傷する発言・行動はしない
- 意見を述べるときは、名前（あれば所属団体や活動名も）を名乗る
- 1回の発言時間はできるだけ3分以内で
- 以上のことをふまえながら、自由に、活発に対話する

基本理念（第9回明石公園部会資料より）

- 明石公園には、豊かな自然環境、先人から受け継いだ文化財、健康と生きがいのためのスポーツ施設、学びと探求のフィールド、そして県民の日常の憩いと安らぎの場といった多様な価値があることを認め、すべてを大切にしていきます。
- 明石公園に新しい価値が生まれることも積極的に受け入れ、育んでいきます。
- ありとあらゆる立場や考え、個性の人が参加できるように、場所や日時、プログラムについて工夫を凝らします。
- ミーティングには、「明石公園を愛し、よりよい公園づくりのために自ら行動する者」として参加します。
- お互いを認め合い、信頼し、共感する姿勢をもちながら、それぞれの立場から率直に発言し、建設的な提案を行います。
- 公園づくりにかかわる話し合いの内容や結果に関する情報は常に公開し、透明性の確保に努めます。
- 上に書かれた理念が守られていない場合は、参加者どうしで声がけをするなどして、「よりよい明石公園をつくる」ための場の安全性を担保します。

第2回の振り返り

- 県立都市公園あり方検討会明石公園部会の振り返り
- みんなのみらいミーティングの役割について
- テーマに沿ったワークショップ
 - (1) 明石公園のゾーニング図Bに係る意見募集について
 - (2) 市立図書館跡地の利活用について
 - (3) 明石公園での拠点創出について
 - (4) その他（今後の予定等）



拠点創出についての意見

- 明石公園の生き物・植物展示（写真+実物等）、小冊子の物販
- 季節の情報の展示や、大型の水鳥等を観察できる望遠鏡を設置
- 飲食スペース
- 無料休憩所
- 明石の名産物の売店（情報発信の場所としても活用したい）
- 誰もが作品を展示できる場所
- 四季の草花の展示室
- マイプラント展示スペース
- 明石城の歴史や年表等の展示スペース
- 工作や作業ができるスペース
- 折り紙教室等ができるスペース
- 机と椅子のみのフリースペース
- 他の人とマッチングや話し合い等ができるラボのようなスペース
- 卓球ができるスペース

新たな拠点の可能性

- 明石公園の中央付近に位置する花と緑のまちづくりセンターは、公園内で多様な活動を展開するうえでの拠点として適した立地
- 剛ノ池を望むことができ、屋内から野鳥を観察できる貴重な場所である
- 喫茶店も隣接しており、店内と一体的に使用することでカフェ的機能も実現できる
- 剛ノ池周辺で野外活動を実施する際の拠点としても使える
- 広いスペースがあり、利用する人も多すぎないことから、小さな子どもを見守りながら休憩したり、テレワークをする機能も付与できないか（第1回MMMで提案された事項）
- 現状では、年に数回のイベントの際に展示で使用されるだけで、活用しきれていない印象がある
- センターは、①公園利用者の交流、②公園の情報発信、③テレワークなど新たな公園の利用、の3つの機能をもった拠点としての可能性を有している

現状の課題

- 現状では展示スペースには空調が設置されていないため、真夏・真冬の使用が難しい
- イベントの展示機能も担保する必要があるため、可変的にスペースを使えるようにする必要がある
- 明石公園の魅力を高める拠点スペースとするうえでは「おしゃれ」であることが大切
- TTTのある管理棟と機能のすみ分けが大切

今後の展開

- 市民主体で「おしゃれ」に拠点を整備するプロジェクトを立ち上げる
- 明石公園全体の協働プロジェクトとして位置付け、将来的に予算を確保したうえでの恒常的な拠点創出を目指す
- おしゃれな空間を実現するために、関心をもってくれそうな工務店やデザイナーにも声をかけて、現地を確認しながら相談
- 2024年度に、試験的に拠点としての整備と使用を開始し、その効果を確認する
- 空調がないため、暑さが落ち着く10月頃から試験的な使用開始を目指す
- 最初はテーブルと椅子、パーティションなどを設置し、使ってみることから始める
- 将来的に恒常的な拠点とする場合のプランを作成する